

山 弓 連

平成 19 年

5 月 発行

平成 19 年度 初頭にあたり

会長 天野 裕

小瀬スポーツ公園の見事なさくらも既に爽やかな若葉へと彩りを移して来ております。活動の鈍る冬の間、会員の皆様には躍動の季節の到来を心待ちにしていたことと思います。やはりこの時期を迎えてこそ、弓矢を手にする気持ちにも期待と喜びが感じられます。

さて、旧年度の役員はこの三月末を以て任期満了となりましたが、過去二年間の山弓連の諸行事には会員の皆様方の積極的なご参加とご協力をいただき、円滑な運営と充実した活動ができましたことを役員一同衷より感謝申し上げます。

この間、市町村合併に伴う新たな支部の枠組み再編成では、関係する地域の方々には超えなければならない壁を超え、新しい絆を誕生させるなど、新たな仲間づくりにご苦労いただきました。また、全国的にジュニア層の拡充が叫ばれる中、本県高校生の活躍には目を見張るものがありましたし、中学生の弓道人口の増加と活動にも期待されるものが芽吹いております。

昨年五月には世界弓道連盟が設立され、本年四月十三・十四日には日本武道館にて世界十五カ国から三百七十名超の弓人を迎え、国内からは千六百名超の参加者を得て盛大な設立記念大会が開催されました。この大会開催には山弓連会員の皆様方からも運営費として七十七万円余りの貴重なご寄付を頂きました。世界弓連に加盟している山弓連として面目の立つ意志表明ができましたことを改めて御礼申し上げます。

三月の総会では指導部長の藤本芳朗氏が勇退され、任に選手強化部長の河西伊三男氏が選任され、選手強化部長には深沢武重氏が選任されました。藤本氏のこれまでのご尽力に会員一同感謝申し上げます。また新任の深沢氏には今後への活躍にご期待申し上げ、皆様のご協力を切にお願い致します。その他の役員は留任となりました。

平成十九年度の行事の中で大きなものに十月の臨時中央審査があります。六段以上の審査になりますが、多くの皆様方の挑戦を期待しております。また、国民体育大会への関東ブロックの出場枠が変更になり、来年度からは成年男子も関東地域から5チームのみ参加できることになりました。この関東地域代表を決定する大会（通称：関東ブロック大会）を山弓連が主管して小瀬武道館で実施することになっています。全ての種別（成年男子・成年女子、少年男子・少年女子）での更なる選手強化が求められており、意欲ある方々の

強化練習への参加を強く期待しているところです。以上のような背景もあり今年度の専門部活動内容には従来と変えたところがあります。女子部のこれまで秋山照美範士のもとで毎月実施してきた女子研修会は、その役割を十分に果たされました。これからは指導に力を発揮できる女性弓士達が男女共同参画の場で後輩の指導に当たることを期待し、指導部の講習会回数を8回から13回に増やしました。県内講師の他、県外からの講師も予定しており、一人でも多くの会員の皆様に実力向上の場を提供したいという考えに拠るものです。

弓道から学べるものは沢山あります。学んだ量の大小や理解度の深浅は弓歴の長短にも依るでしょうが、就中「自分のことは自分が一番分らない」ということが挙げられます。素直であることの重要性は事ある毎に指摘され、頭で分かったツモリでも本能的に素直に成りきれない場面は数え切れず思い起こされましよう。実践することでしか身に付かない弓道では、その実践を通じて弱いところに打ち克つ克己心が鍛錬されるはずで、講習会の活用には是非重きを置いていただきたいと願っております。

「和をもって 世界をむすぶ 弓の道」、日本伝統文化の真髄を弓道に求め来る世界の弓道愛好者が増えています。それに応えられる素地を心技体の中で育成することが同時に自分自身の向上に繋がることを信じ、礼記一射義の教えるところを心して実行して行きたいものです。変化への対応は今後も予想される場所ですが、挑戦する意欲が何よりも肝要かと思えます。活動を通じて人格の完成を目指す弓道であることを常に念頭に置き、新役員一同、その役割に専心取り組む覚悟でおります。会員各位のご支援ご協力をお願い申し上げます。（こころも体も真っ直ぐに）

郡内大会

平成 19 年 3 月 25 日

3 月の最終日曜日、花曇りの中、郡内大会が行われました。これは郡内地区の富士吉田、大月、都留、上野原の各支部の親睦を目的とした大会で、的中の競い合いの中にも和やかな雰囲気が進みました。

当日は各支部の枠を取り払い5人一組のチームを作りました。その際、各人に番号を持ってもらい「BINGO」の抽選で編成」という遊び的要素も取り入れました。お互い初めての顔合せで少し緊張感のある中、親睦をはかることができたのではないのでしょうか。試合の結果は次のとおりです。

参加 40 名 矢渡、宮下貞雄 介添上條依里、館野智恵
4 射 x 3 立 = 12 射 5 人 1 組 計 60 射

優勝 小泉昌末⑩（大月）、和智一雄③（上野原）
（35 中/60） 上條剛央⑪（上野原）、富岡雅夫⑤（上野原）、
斎藤勝利⑥（富士吉田）2 位 酒井紀夫⑥（都留）、宮崎 梢
（上野原）（27 中/60） 上條依里④（上野原）、堀口津由美⑧

(都留)、竹俣忠州③(都留) 3位 佐々木 強⑧(上野原)
 高部保延(都留) (25中/60) 志村政夫②(上野原)、館野
 智恵⑤(上野原)、岩崎 博 ②(大月) 敢闘賞 小泉
 昌未(大月)、堀口津由美(都留)、勝俣さつき(富士吉田)

報告 上野原支部 館野智恵

段位別兼全日本・関東選抜予選(一次)大会

平成19年4月15日(日)

参加申し込み総数 94名 大会役員・競技役員
 22名

◇三段以下の部 参加申し込み 27名 計8射

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射
優勝	篠崎 亮	甲斐	三段	8	
2位	中込 康之	南アルプス	三段	6	遠近
3位	渡辺 大	富士吉田	二段	6	遠近

◇四段の部 参加申し込み 24名 計8射

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射
優勝	河西 宏斉	南アルプス	四段	7	
2位	藤原 直之	笛吹	四段	6	遠近
3位	大野 陽子	甲府	四段	6	遠近

◇五段の部 参加申し込み 11名 計8射

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射
優勝	細野晃史	甲府	五段	6	
2位	大和田幸子	南アルプス	五段	5	
3位	佐野弥生	甲府	五段	3	遠近

◇称号の部 参加申し込み 32名 計8射

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射
優勝	竹村 栄寿	甲府	練五	7	
2位	綿奈部博史	甲府	練六	6	遠近
3位	不動田光熙	上野原	練五	6	遠近

第29回大法師さくらまつり県下弓道大会

4月1日(日)

気温30度の真夏の陽気となり満開の桜の下に90名の弓友が集い盛大に展開されました。大詰めの優勝決定戦には8射7中同士の4名が残り射抜き9回戦目にしてやっと決着という大会史上まれに見る熱戦に固唾を呑んで見つめていた観衆から溜息交じりの歓声が上がりました。二日おいて4日に開催の招待高校生大会にはやはり90名近い選手が参加熱戦を繰り広げましたが、一般大会の陽気とは一変して近くの間山々が雪化粧するという馬鹿陽気となり各選手は震え上がる

ほどの寒さに日頃の練習成果が出し切れなかったなど主催者として申し訳ない気持ちでいっぱいでした。毎年のことながら雨大会には参加者に運営手助けをお願いし無事終了できましたことに対してこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。成績・一般団体 優勝 南アルプス⑰ 2位 笛吹市⑱ 3位 甲府市⑲ 個人 優勝 中込 実(南ア)⑦ 2位 藤原直之(笛吹)⑦ 3位 近藤賢一(市川三郷)⑦

審査部報告

審査部長佐野辰巳

平成19年5月20日小瀬弓道場で今年初めて県内審査が行われ130名が受審されました、その内58名が合格されました、その結果を次の通り報告します。

段級位	受審者数	種別	合格者数	欠員
査定	26	2級	1	0
査定		1級	14	
査定		初段	11	
初段	52		24	3
二段	29		3	3
三段	16		3	0
四段	7		2	0
	130		58	6

1. 全体では欠席者が6名おり、実際の受審者は124名でした。
2. 学科でいつも出題の内容を間違う人が多いので気をつけてください。
3. 術科について、素晴らしい射をする人と、もう少し頑張ればとの二つに分かれた審査でした。
5. 高段者では的中を意識しすぎて気合の離れが出来なく失敗する人が多く見受けられました。

関東連合審査 報告

山梨小瀬弓道場で平成19年5月13日行われました審査結果を報告します。四段の部 1名 木藤晴彦(神奈川) 五段の部 10名 問世田稔 山口忠重(東京第二) 清水寛(長野) 栗原和子 石井正恵(東京第三) 河西宏斎 高埜よしみ 萩原英寿 上田靖人 内藤成富(山梨) 以上11名が「山梨小瀬弓道場」での審査会で合格しました。そのうち山梨県勢は5名が念願を果たしました、おめでとう御座います。

第2回笛吹市体育祭り 平成19年4月29日

御坂町成田弓道場・快晴に恵まれた弓道大会に各町代表チームが奮闘しました。以下成績です。射数一人12射 男子団体・優勝 石和A 23中 坂牧雅夫、藤原直之、萩原英寿 2位 春日居 16中 若杉年久、標興次、芦澤茂幸 3位 御坂 12中 雨宮哲、長田長久、菱山忠夫 女子団体・優勝 八代 18中 丹沢明美 佐野裕子 梶原美紀 2位 石和 13中 大崎千恵 水上梨沙 中村秀子 個人男子・優勝 芦澤茂幸 10中 2位 坂牧雅夫 9中 3位 藤原直之 9中 個人女子 優勝 佐野裕子 8中 2位 梶原美紀 7中 3位 水上梨沙 6中 (報告 笛吹支部 長田)